

日本放射線技術学会
第74回総会学術集会 医療安全フォーラム
医療安全への道～安全度とリスク度の見える化（臨床応用）～

医療安全とループブリック

－人材育成の視点から評価方法を再考する－

京都大学医学部附属病院
総合臨床教育・研修センター
内藤知佐子



なぜ評価をするのか？

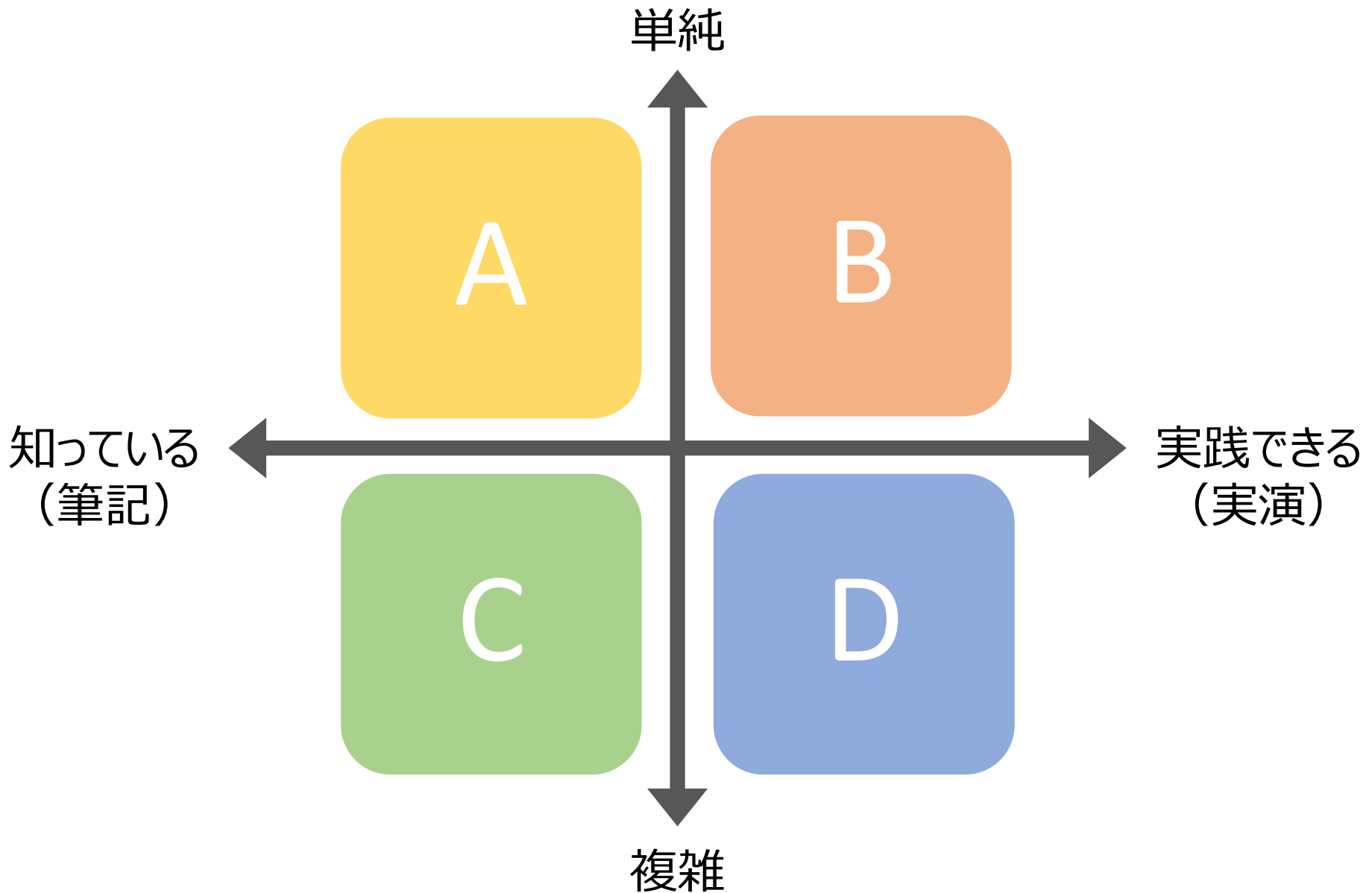
- 専門家としての質を保証するため = 質の高い安全な医療の提供
(社会や職能団体が期待する水準に達成したかを査定する)
- 教育プログラムの早い段階で問題のある学習者を発見するため
- 学習を支援し、改善を図るため
- 動機づけのため
- 指導者へのフィードバックとして活用するため



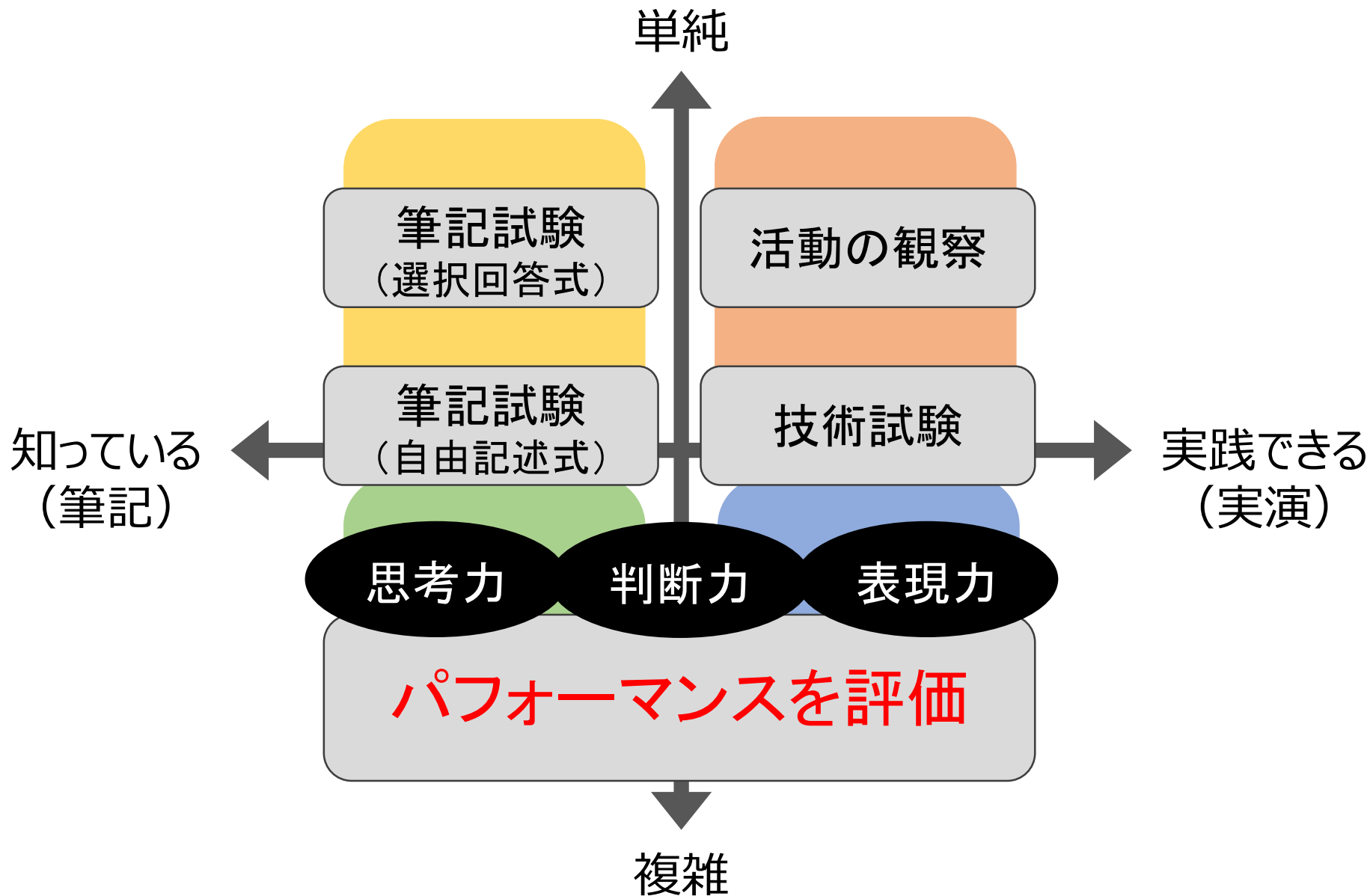
“知っている”は

“できる”を保証しない

何を評価するのかを意識する



何を評価するのかを意識する



パフォーマンスを評価するツール

ルーブリック

ある課題について、できるようになってもらいたい
特定の事柄を配置するための道具

	評価尺度1	評価尺度2	評価尺度3
評価観点1			
評価観点2			
評価観点3			
評価観点4			
評価観点5			
評価観点6			
評価観点7			

□ 新人看護師の気持ちを理解するために、
まずは相手の思いや話しを「きく」ことができる

A 理想的 できる	B 普通 ある程度できる	C 努力が必要	自己 評価
<p>自分の意見や考えを伝える前に、まずは相手の話や思いに耳を傾けることができる。</p> <p>相づち、頷き、オウム返しなどを適宜行い、聴いている態度を示すことができる。</p> <p>曖昧な言葉（ビッグワード）が出てきた際には質問を行い、ズレをなくすことを意識しながら相手に関心をもち耳を傾けることができる。</p>	<p>自分の意見や考えを伝える前に、ときどき相手の話や思いに耳を傾けることができる。</p> <p>相づち、頷き、オウム返しなどを適宜行い、聴いている態度を示すことができる。</p>	<p>自分の意見や考えのみを伝える。</p>	

具体的に何ができるように示した方が
より教育効果が高くなる

(Kozlow, 1978)

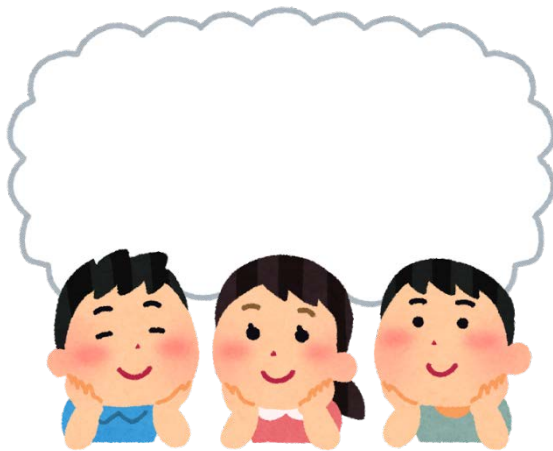
フェア・プロセス

人間は、結果にもこだわるが、
それに至るまでのプロセスにもこだわる

(チャン・キム, 1997)

人材育成で意識したい2つのポイント

ゴールの共有 と 腹落ち



ルーブリックを活用する意義

- 1) タイミングのよいフィードバックは学習を促進させる
- 2) 学習者自身によるフィードバックの活用
- 3) 批判的思考のトレーニング
- 4) 他者とのコミュニケーションの活性化
- 5) 指導者の教育技法の向上
- 6) 平等な学習環境作り

放射線業務医療安全確保のためのチェックリスト

1. 基礎チェック項目

<緊急対応>

- ⑧ 患者の容態急変時の緊急対応方法を理解しているか
 - 患者急変時マニュアルを理解し、緊急対応訓練に参加している
 - 患者の容態急変に気づき、いつでも速やかに対応できる
 - 患者の容態急変時に他のスタッフと連携し、適切な指示連絡を出すことができる

□ 患者の容態急変に気づき、いつでも速やかに対応できる

A 理想的 できる	B 普通 ある程度できる	C 努力が必要	自己 評価

□ 患者の容態急変に気づき、いつでも速やかに対応できる

A 理想的 できる	B 普通 ある程度できる	C 努力が必要	自己 評価
<ul style="list-style-type: none">● <u>どんな容態急変</u>に気づけばよい？ 例) アナフィラキシーショック ショックの5P● <u>速やか</u>にとは、どのくらいの速さ？● <u>対応ができる</u>とは、どんなことができればOK？			